

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	三松小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	11人(男性10人 女性1人)		溝口 誠二	司会進行
開催日	平成29年7月19日(水)		淵上 貞継	活動報告
開催時間	午後7時～午後8時30分		森田 哲朗	記録・報告書作成
会場	農村環境改善センター		首藤 美也子	
その他			下沖 篤史	音響
		3班		

◎班代表者 淵上 貞継

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	「地域交通について」・「空き家活用について」		
<p>【意見交換の概要】</p> <p>「地域交通について」</p> <p>□三松循環線は「美人の湯」までしか運行していない。下堤地区まで延長してもらえないか。また、押し車で下堤のセブンイレブンまで買い物にきている高齢者がいる。路線バスが走っているが2時間に1本であり、大変不便である。</p> <p>■路線バスと重複して走行できない。議会でも議論を深め、地域の意見を伝えていく。</p> <p>□乗り換えたらまた100円要る。100円だけで済むようにならないか。</p> <p>□須木方面から病院に行くとき、バスセンターでの乗り継ぎに間があり過ぎてタクシーを使ってしまう。乗り継ぎがスムーズに行くように考えてほしい。</p> <p>□市立病院から八幡原までは現在1便だけである。間に合わないときには歩いていかなければならない。もう1便増やしてほしい。</p> <p>■議会でも議論を深め、地域の意見を伝えていく。</p> <p>□地域公共交通は地域住民の利便性と行政のまちづくりに寄与しているが、市外から小林市へ観光に来る人にも案内や表示をして利用を呼びかけたらどうか。</p> <p>■大変良い提案であり、議会でも議論を深め、地域の意見を伝えていく。</p> <p>□運転免許自主返納者への特典は何があるか。</p> <p>■運転免許返納後1年間は料金200円が半額の100円になる。三松循環線の料金は100円だが半額にはならない。</p> <p>□運転免許を返納すれば明日から病院に行けなくなり生活に困る。タクシー料金がもう少し安ければ運転免許自主返納者も増えるのではないか。自主返納したら市内全線のコミュニティバス料金を無料にしたらどうか。</p> <p>■議会全体で議論を深めていきたい。</p>			

「空き家活用について」

□市の「空き家バンク」に登録したときのリフォーム代の補助はあるのか。

■空き家バンクに登録している賃貸物件で移住者と契約が成立した場合、空き家の所有者に対し最大50万円の空き家改修補助がある。この補助金は、台所、風呂、トイレ等の修繕、内装改修、屋内清掃、家財道具等の運搬及び廃棄に使える。

□小林市にUターンし空き家を利用する場合、不動産屋は関係ないのか。

■行政はあくまでも空き家を紹介するだけで賃貸契約は当事者同士で行う。もし不動産屋を通したい場合は行政が指定の不動産屋を紹介する。

□空き家に居住する場合、衛生面や草刈りのことなどで困ることも出てくる。そんな時には小林市シルバー人材センターに相談してもらえばいいのでは。

■大変良い提案であり、当局に伝える。

□空き家はただ住むだけの利用ではなく、公民館的な活用はできないのか。

■野尻地区内の空き家から選定した住宅1軒を借り上げ、リフォームし、移住希望者のお試し宿泊施設として貸し出したり、きずな協働体の拠点や交流にも使っていく計画がある。

□自分の常会は高齢者ばかりだ。10年、15年後は空き家ばかりになる。人がいなくなるが将来はどうなるのか。

■空き家増加は本当に深刻な問題である。行政は空き家対策を効果的かつ効率的に推進するための「空き家等対策計画」の策定を平成30年度までに行う方針である。議会においても議員間討論など行い、将来の対策を考えたい。

□小林市には若者の働く場がないため若者離れしていく。空き家を料理店にするなどして若者の働く場にし、将来の展望が持てるようにしたら良いのではないか。

■議員間で討議していきたい。

自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□小林市、えびの市から産婦人科がなくなった。都城市か宮崎市で出産せざるをえない。市外で妊婦健診する人や出産する人には何らかの助成が必要ではないか。

■議会全体で議論を深めていきたい。

□三松小校区に競輪車券売り場の話が持ち上がり、議会も進出反対の決議をした。しかしながら先方は諦めていないと聞く。三松校区あげて反対してほしい。

■区長に伝える。

□高校卒業後、大半が市外に出ている。やる気ある若者を育てるべきでは。

■平成29年度からキャリア教育制度を立ち上げ、地元産業の魅力を伝え、地元に着する若者を育てる教育を始めた。

□子牛の値段が非常に高くなっている。この勢いにのり畜産を活性化し、関連産業を誘致して正規雇用を増やしてほしい。

■良い提案あり、議員間で討論したい。

□市内の中学校を卒業した生徒が、宮崎市や都城市など市外の高校に数多くバス通学している。その辺を議会としてはどう捉え、どうしていこうと思っているのか。

■学区制がなくなり市外の公立高校に進む生徒や、私立高校に通う生徒が増えていることは承知している。今後、市内の3つの高校をどのような魅力ある高校にするか議員間で討論したい。

□医師を招致するにあたり、小林市は医師が定住しにくい環境になっているのでは。

■議会全体で議論を深めていきたい。

□移住者は常会に加入するようにしてほしい。

■当局に伝える。

□紙おむつは週1回(月)燃やすごみで出している。これを夏場だけでいいから週2回(月・木)出せるようにしてほしい。夏場の異臭は強烈で近寄れない。

■議会全体で議論し、地域の意見を伝えていく。

◎小林市立病院での産婦人科(分娩)再開について

意見交換会では、小児科・産婦人科の充実を求める意見が各地区で出されました。その後、西諸出身の医師を中心とし、宮大医学部産婦人科の支援のもと、平成30年7月から小林市立病院での産婦人科(分娩)を再開する運びとなりました。また、9月定例会では、妊婦等に対し通院にかかる交通費として妊娠1回につき2万円交付する予算が可決されました。

議会活動報告への意見

※□市民の意見 ■議員の意見

特になし